



コードNo. 198-18841 ( 50  $\mu$ L)  
194-18843 (500  $\mu$ L)

遺伝子研究用

**SAFELOOK<sup>TM</sup> グリーン核酸染色液**

SAFELOOK<sup>TM</sup> シリーズは、低変異原性で安全性の高い核酸染色試薬です。変異原性が高いとされるエチジウムプロマイドにとつて代わる核酸染色試薬として開発されました。

SAFELOOK<sup>TM</sup> グリーン核酸染色液は励起光下 (490nm) で DNA と結合すると緑色蛍光 (520nm) を、RNA と結合すると赤色蛍光 (635nm) を発します。本品はプレキャストステイン(先染め) およびポストステイン(後染め) どちらにも使用することができます。

検出核酸 : dsDNA, ssDNA, RNA

適用ゲル : アガロース

励起波長 : 490nm

蛍光波長 : 520nm (DNA)、635nm (RNA)

検出感度 : 0.1-0.3ng

光 源 : UV、LED

**【プロトコル】**

**プレキャストステイン**

- 溶解したアガロースゲル溶液を用意する。
- アガロースゲル溶液 100mLあたり 5  $\mu$ L の SAFELOOK<sup>TM</sup> グリーン核酸染色液を添加し、泡立てないようにゆっくり混ぜる。
- ゲルトレイにアガロースゲル溶液を流しこみ、冷ましてゲルを作製する。
- ローディングダイを加えたサンプルをゲルにアプライし、電気泳動を行う。  
バンドの蛍光が弱い場合は、電気泳動のランニングバッファーに 200mLあたり 5-10  $\mu$ L の SAFELOOK<sup>TM</sup> グリーン核酸染色液を添加し、電気泳動を行うと改善されます。
- 泳動後のゲルを UV または LED ライトで観察する。

**ポストステイン**

- アガロース電気泳動を行う。
- SAFELOOK<sup>TM</sup> グリーン核酸染色液をバッファー (TAE もしくは TBE バッファー) に 1 : 5000-1 : 10000 の比率で加え、染色バッファーを作製する。  
染色バッファーの作成にガラス容器は使用しないでください。色素が吸着して染色効率が低下する恐れがあります。
- 電気泳動が終わったらアガロースゲルを取り出し、2. のバッファーに移す。
- 遮光しながら室温で 10-40 分程度ゆっくりと振盪して染色する。
- 染色後のゲルを UV または LED ライトで観察する。  
通常脱染は必要ないですが、水で洗浄するとバックグラウンドを低減できる場合があります。

**【保 存】**

2-10°C、遮光

**【容 量】**

| コード No.   | 容 量         |
|-----------|-------------|
| 198-18841 | 50 $\mu$ L  |
| 194-18843 | 500 $\mu$ L |

**製造発売元**

**富士フィルム 和光純薬株式会社**

大阪市中央区道修町三丁目1番2号

Tel : 06-6203-3741

2307KA2